

2023年11月12日

「光を受け継ぐ」

マタイによる福音書 23 : 25-36

竹島 敏牧師

私たちが受け継ぐ光、主イエスがともした光とは、23節において「これこそ行ふべきこと」と語っておられる「正義、慈悲、誠実」を大切にして生きてゆく生き方のことです。強欲と放縦に満ちた内側、偽善と不法に満ちた内側をきれいにしなさい、まず、自らの内面に目を向けて省みなさいと主イエスは言われています。そのように悔い改めて、神の「正義、慈悲、誠実」に立ち返って生きる生き方、それが私たちが受け継ぐ光です。

そしてその光は代々のキリスト者に受け継がれて、私たちの信仰の先達もまたこのイエスに招かれ小石川白山教会につながり、この主イエスに倣って生きる生き方をすることを決断して、それぞれの信仰の生涯を歩みました。その姿が主イエスを証しする光となって、後に続く私たちの心を照らしているのです。

小石川白山教会が歩んだ 121 年の歴史には、この教会を建て上げた宣教師の先生方の篤い祈り、神と私たちへの愛、宣教の苦悩と格闘が刻まれています。戦禍による苦難の時代にこの群れを守り、信仰を守り続けた数々の先達の光としての生き方が、今を生きる私たちを照らしています。その時代時代に形を変えて様々な困難があり、痛みがあります。自らの杯や皿の内側を省みてくり返し悔い改め、神の正義と慈悲、誠実に、くり返し立ち返る必要があります。そして互いに心配りし合いながら、足りないところは補い合い重荷は分かち合っ
て背負い、愛をもって隣人に仕えるこの世を照らす光としての生き方を、私たちが受け継ぐ
のです。それがさらに後に続く人たちを興すことになり、私たちの周りに主イエスが望まれ
た神の国が創られてゆくのだと信じたいと思うのです。